

【習得している知識・技能等】

- ・日常着の手入れ
- ・手縫い，ミシン縫い，補修の技術
- ・環境に配慮した消費生活


本時の学習を通して育てたい力

- 自分や家族の衣生活や住生活を豊かにするための工夫ができる。

〈本時での活用とは〉

小学校での学習を含め、習得した作品製作のための知識・技能を活用し、生活を豊かにするための工夫ができる。

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 題材名 布製品で生活を豊かに！
- ◇ 本時の目標 衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫できる。
- ◇ 学習の流れ(2時間目/全9時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題意識をもたせる。 2 本時のめあてを確認する。	◇前時で学習した，生活を「豊かにする」とはどのようなことか想起させる。自分が家庭ウオッチングをして，考えたバックの名称をワークシートに記入する。 バックの工夫に学び，自分の製作品を工夫しよう！	
3 バックの観察をする。 ・肩にかける紐がある。 ・たたんで収納できる袋がある。 ・好みの絵を刺繍している。 ・重いものが入るように二重にしている。 ・小物を入れるポケットがある。 4 条件に合わせて製作品の計画をする。 ワークシートに記入させる項目を吟味しましょう。 ★生活を豊かにするためのバックを製作するために，どのような条件を設定すれば，題材のねらいを達成させるのかを想定し，項目を設定する。また，製作過程で変化していく工夫や自分の考えを記入できるように題材全体を見通したワークシートを作成することで，常に活用して考えることのできる力を育てる。	◇様々な工夫をしているバックを観察させる。 ◇工夫点について，個人の気づきを付箋に記入させる。 ◇班でグルーピングした後，分けたグループに短い見出しを付けさせ，発表させる。 ◇主に「豊かさ」，「便利さ」，「使いやすさ」，「縫い方」についての工夫が出ている発表を評価し，製作計画を立てる時の視点に気付かせる。 ◇次の条件を満たす製作品を考えさせ，ワークシートに図や言葉で表現させる。 <条件> ・不用になった布を材料に入れること ・6時間で製作できる物 <ワークシートの項目例> 「作品名」，「完成図」，「誰が使うのか」，「このバックのよいところ」，「常に使えるようにするための工夫（消費生活の観点から）」，「製作計画（材料，手順，縫い方の工夫）」※この項目については次時に記入させる。 ◇各班の発表を壁に貼ったままにしておき，製作計画の参考にさせる。 ◆記入につまずいている項目については，上級生の製作品の例等を紹介しながら具体的に考えることができるようにアドバイスする。	
5 製作品の紹介をする。 6 本時のまとめをする。	◇自分の考えた製作品を紹介させる。友達の製作品の良いところについてコメントを記入させることにより，発表者の製作への意欲を喚起する。 ◇同じ種類の製作品の中から工夫のある製作計画をコピーし，掲示することにより今後の製作の参考にさせる。掲示物の選択にあたっては，プライバシーに配慮する。 ◇「自分なりに工夫した点」について，まとめさせる。	・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え，製作計画や方法について自分なりに工夫している。[生活を工夫し創造する能力](ワークシート)
生徒のまとめ例 ・ 買い物に出る時に家族全員が使えるようなバックを考案した。丈夫にするために，布を二重にすることにした。また，いつでも使えるように玄関の壁にかけて保管できるようにした。さらに，玄関にかけているときには飾りとして家族の心が安らぐようにバックのデザインを工夫した。		
7 本時を振り返り，次時につなげる。 ・ 材料を何にするか悩んでいるため不用になった布を探す。	◇次時は，製作の具体的な計画を立てるため，材料の考案や家族にインタビューし更に加えたら良い工夫や縫い方について情報収集をしてくるように伝え，次時に向け準備してくるということについて整理させる。	